



あかしあ

第 34 号
平成 29 年 3 月 1 日
校長 濱 徹 Toru Hama



学校で働くスタッフさんに感謝する会



2月14日(火)には、学校で働いているスタッフさんに感謝する会が行われました。大連日本人学校には、通訳事務・運転手・中国語の先生・服务员・警備員等、20名のスタッフのみなさんが勤務しています。児童生徒、教員が安心して学校生活を送れるよう、それぞれの立場から温かく見守ってくださっています。

この会のねらいは、学校で働くスタッフさんの仕事について知ること、及びスタッフさんに対する尊敬と感謝の気持ちを育み親睦を深めることにあります。

実行委員として、小学部1年生～中学部3年生までのそれぞれのクラスから1名ずつ、計9名が選出されました。実行委員の児童生徒たちは、業間や昼休みなどの僅かな時間を使って打ち合わせ・練習を重ねました。

すべての子どもたちは、日ごろの感謝の気持ちを感謝状に込め、クラス毎に、一人一人のスタッフさんに感謝状をプレゼントしました。和やかな雰囲気の中、たくさんの笑顔とともに素敵な時間を過ごすことができました。



縦割り班での清掃活動



2月6日(月)～17日(金)の10日間、全校の児童生徒が、学年の枠を超えた縦割り班での清掃活動を行いました。

この活動のねらいは、自らの手で快適な生活環境を整えようとする意識を養うとともに、発達段階に応じて教え合い、助け合うなど、お互いを尊重し、協力し合う態度を養うこと、及び小学部高学年から中学部の児童生徒のリーダー性を養うことにあります。

6日には、各班の班長を中心に「はじめの会」を行いました。自己紹介・清掃目標発表・役割分担・清掃方法・用具確認・集合時間と場所の確認等々、細かい打ち合わせをした後、

午後 1 時から 10 分間の清掃活動をスタートさせました。『自分の手でゴミを拾う』というとても小さな一歩から、毎日使う場所を綺麗に保ち、物を大切に作る気持ち、一つの事を仲間と協力してやり遂げる力、自分が学校を去った後もこの場所を使う仲間を思いやる心を掃除の時間から学んでほしいと思います。

大連日本人学校で毎日行われる『清掃の時間』は、創立以来実践されています。私たち日本人には馴染み深い清掃の時間です。古来、日本では、躰としてどの家庭でも小さな頃から掃除の仕方や掃除の心が受け継がれてきました。

ご家庭でも玄関や自分の部屋の掃除を習慣づけしていただくと更に教育効果が高まります。掃除が苦手だったり億劫に思う子どもはたくさんいると思います。子どもへの動機付けで一番大切なことは、『親から認められること』です。掃除が終わったら直ぐに「ありがとう。きれいになったね。」と笑顔とともに感謝の気持ちを表すと、「次もがんばろう。」という気持ちになります。この『笑顔』と『感謝の気持ちの褒め言葉』のセットは、掃除だけでなく、お手伝い全般、そして勉強にもつながっていきます。



3月の行事予定



詳しくは、各学年だより等からお知らせいたします。ご質問、ご意見等、お気軽にお問い合わせください。

☆緊急連絡への対応について

世界の各地では、テロを含む様々な事件が報道されています。在大連領事事務所からも注意喚起がなされています。学校としても子どもたちの指導はもちろん、現地公安当局にも警備強化の申し入れを行っております。

保護者のみなさまにおかれましても引き続き細心の注意を心がけていただき、動向の連絡、携帯電話の充電・チャージなど、いざという時の対応ができるよう万全の体制を整えていただければと思います。